

礼を重んじながら

中台中学校剣道部



渡辺 康介 部長(3年生)

部長として、みんなをしっかりまとめられるように心掛けています。

ぼくたち中台中学校剣道部は、1年生から3年生まで33人。平日は朝と放課後、土日は平日、主に学校の体育館で練習しています。

顧問の伊藤先生は、「試合で通用するような練習をするように」とおっしゃいます。苦手なところや伸ばしたいところを常に意識し、次の試合に勝てるようイメージしながら日々の稽古に励んでいます。剣道は、礼に始まり礼に終わる

競技なので、一人一人大きな声であいさつをするように心掛けています。

ぼくたちは、部の団結力を大切にしています。1年生の中には、初心者もいますが、上級生が丁寧に剣道を教えたり、部員同士で長所や改善点を教え合うことで、結束が強くなります。

剣道をしていると、物事に対する集中力が身に付き、日常生活でも、それを生かしていくことができます。

ぼくたちの今後の目標は、印旛郡市の総合体育大会で優勝し、県大会出場、さらには上位入賞することです。そのために、個々の技術の向上を図りつつ、部一丸となって練習に取り組んでいきたいです。



精神を集中させて



一本に思いを込めて

なかま
と一緒

107

伝統工芸の心を継承

成田表装倶楽部

わたしたち「成田表装倶楽部」は、毎週土曜日に豊住公民館で、正午から午後5時まで大木憲治先生の指導を受けながら活動しています。

表装とは、日本画や書などの保存と鑑賞のために、布や紙で作品に縁取りや裏打ちをして、掛け軸や額などに仕立てることです。

生活様式の変化に伴い、住宅でも和室や床の間が少なくなり、掛け軸などを飾る空間が減ってきています。また、機械表装が一般的になり、職人芸として育まれてきた伝統表装が少なくなりつつあります。

わたしたちは、本来の伝統工芸としての工法にこだわって表装の制作を楽しんでいます。制作には、かなりの手間が掛かります。一つの作品が完成するまでには、何段階もの工程を経るので、2〜3カ月はかかります。

工程の中でも、基本的な作業である裏打ちには、特に神経を使わなければなりません。でんぷんりの



和気あいあいと作業

を工程ごとに異なる濃さに薄めるのに、先生にチェックしてもらいながら、何度も裏打ちを重ねます。裏打ちした後、



完成した作品の前に

乾燥させるために大きな板に張り付ける作業では、板を立てるのを手伝ったり、刷毛撫でを手伝ったりと、お互いに協力し合っています。

趣味の絵手紙や記念の作品などを持ち寄り、どのような表装にするのか先生に相談しながら作品作りに悪戦苦闘。出来上がった掛け軸などを床の間に掲げ、眺めているときの気分は格別です。お祝いの贈り物としても大変喜ばれています。

6月には、文団連の春の発表・展示会で作品を発表しました。

みなさんもわたしたちと一緒に伝統工芸にチャレンジしませんか。

スクスクのびのび

369



ひろと 矢部 凜翔くん(1歳)美郷台

初節句!みんなにお祝いしてもらったよ!僕かっこいいでしょ~。



りこ 小杉 理心ちゃん(5カ月)団護台

まだ5カ月なのに、わたしも真似してみました。



みさき 葛城 美咲ちゃん(3カ月)加良部

ベビーカーに乗って初めてのお散歩にゴキゲン。お外大好き!

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの一枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503